

中東情勢に伴う経済産業省における対応状況について

3月14日(土)から、経済産業省で、情報提供を受付開始。寄せられる情報や関係省庁からの供給要請を踏まえ、石油会社や石油製品会社等と調整し、流通経路を開拓。

◎ 他省庁からの要請に基づく重油や軽油等の供給確保

○ 医療関係

新生児医療用カテーテル カテーテルの滅菌工程に必要なボイラー用A重油の供給不足

注射針、採血管 注射針や採血管の滅菌工程等に必要なボイラー用A重油の供給不足

→ 厚労省と連携し、石油の元売り事業者と調整の上、当面必要な重油の供給を確保

○ 九州地方のバス事業

・路線バス用の軽油の不足。

→ 国交省と連携し、石油の元売り事業者と調整の上、当面必要な軽油の供給を確保

○ 酸化エチレンガス

・医療用器具等の滅菌に必要な酸化エチレンガスの供給不安

→ 厚労省と連携し、石油化学企業等と調整・事実関係を確認の上、当面必要な酸化エチレンの供給を確保

◎ 対応を進めている事例

○ シンナー

・塗料製造に必要な塗料用シンナーへの供給不安。

→ 川上側の石油化学企業は国内供給を継続しているが、燃料油と比べてサプライチェーンが多層的であるため、川中のどこで目詰まりが発生しているかを特定すべく、事実関係を確認し、個別に目詰まり解消の対応中。